

千葉県隊友会のあゆみ

2024年5月1日

区 分				1959 年 (昭和 34 年)	1960 年 (昭和 35 年)
自衛隊の歴史& 隊友会主要活動		凡例 1 自衛隊の歴史 ① 隊友会主要活動		① 任意団体「隊友会」結成 7 月 1 0 日 虎ノ門 共済会館 ② 九段坂上・千代田会館に設置 3 伊勢湾台風災害派遣	① 檜町 (六本木) 庁舎へ移転 ② 隊友会員章 (バッジ) 制定 ③ 社団法人「隊友会」発足 4 チリ地震津波災害派遣
支 部 長				野口 岡治	野口 岡治
副 支 部 長				黒川 日出松 宮 定一 (理事) 野口 邦雄、切替 茂郎 足立 茂、稲毛 久次郎 佐々木 昭博、福原 英男	黒川 日出松 宮 定一
事 務 局 長					
県主要行事		参考資料 (正会員費の推移) S35 ～ 46 300 円 47 ～ 48 500 円 49 ～ 52 1,000 円 53 ～ 57 1,500 円 58 ～ H5 2,000 円 H6 ～ 3,000 円		隊友会千葉支部結成式 12 月 13 日 於 千葉地連 退職隊員の所在が不明のため、 主として所在の確かな予備自衛 官を対象として発足した。	1 総会 8 月 習志野駐屯地 2 映画会 5 月 姉ヶ崎公民館 3 災害派遣部隊に協力 夷隅分会 4 「隊友ニュース」発刊・配布 5 空挺団の市原地区降下演習慰問 6 佐原地区自衛隊父兄会結成協力
会 員 数				14 分会 168 名 (内 127 名予備自) 習志野部隊分会 5 名 下志津部隊分会 9 名 含む	213 名
在葉部隊の主要 行事 (沿革)				1 日米共同飛行場となる。 海自「白井術科教育隊」新編 米軍撤退 (下総)	

区 分	1961 年 (昭和 36 年)	1962 年 (昭和 37 年)	1963 年 (昭和 38 年)	1964 年 (昭和 39 年)	1965 年 (昭和 40 年)
自衛隊の歴史& 隊友会主要活動	1 防衛施設庁発足 2 「第二次防衛力整備計画」決定 ③ 隊友会に「遺族部会」設置 4 第2室戸台風災害派遣	1 陸自13個師団体制完成 ② 支部旗及びネクタイピン制定 3 台湾バナナコレラ騒動災害派遣	1 38豪雪災害派遣	1 東京オリンピック支援 ② 隊友会「婦人部会」結成 8月 3 新潟地震災害派遣	1 砕氷船「ふじ」南極観測協力開始 ② 自衛隊遺族会新設 7月 隊友会遺族部会廃止
支 部 長	野口 岡治	野口 岡治 (8月) 藤沼 清	藤沼 清	藤沼 清	藤沼 清
副 支 部 長	黒川 日出松 野口 邦雄	黒川 日出松 野口 邦雄	黒川 日出松 宮 定一 野口 邦雄 足立 茂 佐々木 昭博	黒川 日出松 野口 邦雄	黒川 日出松 川名 秀夫 武田 忠
事 務 局 長					
県主要行事	1 支部分会名簿作成し、本部報告 2 総会 8月 千葉市教育会館 終了後家族同伴レクレーション 演芸大会 (丸山明宏等出演) 東京湾一周体験乗艦 千葉港花火大会参観 千葉県民に存在認識を示す。 3 本部よりモデル支部として選定 (大阪と2個支部)	1 全国総会時隊友会支部旗授与 2 総会 8月 県教育会館 終了後自衛艦乗船東京湾一周 3 入会目標 1,000名 4 京葉工業地帯進出企業訪問入会 協力依頼 5 地区連合部会の結成 安芸 6 部会名簿の整理	1 総会 8月 県教育会館 父兄会、遺族会合同の大会 防衛講話、歌謡演芸大会 ナイキ基地見学、自衛艦乗船 2 地区連合部会の結成 茂原 3 名簿作成・配布 4 防衛講演会と音楽の集い 10月 防衛思想の普及高揚並びに自 衛隊への認識を深める。	1 総会 10月 県庁大講堂 講演会、音楽会 2 自衛隊協力会千葉県連合会の結 成を援助 3 銚子地区連合部会結成 10月	1 野田地区連合部会結成 2月 2 殉職者慰霊祭 11月12日 下志津駐屯地
会 員 数	4045名	4,025名 36支部	4,063名	4,367名 36支部	4,250名
在葉部隊の主要 行事 (沿革)	1 「白井術科教育隊」から「第 3術科学校」に改称 (下総) 2 60式空挺傘使用開始 3 「第21航空群」の新編 「第211教育航空隊」及び 「第221教育航空隊」の新編 (館山)	1 滑走路、管制塔等の施設改修 「第4航空群」の編成 下総 2 「木更津航空補給所」として 新編 (木更津航空基地)		1 陸自から空自へナイキシステム 移管され「第1高射群」新編 「第1高射隊」が習志野へ	

区 分	1966 年 (昭和 41 年)	1967 年 (昭和 42 年)	1968 年 (昭和 43 年)	1969 年 (昭和 44 年)	1970 年 (昭和 45 年)
自衛隊の歴史& 隊友会主要活動	1 陸自 6 1 式戦車装備開始 ② 「支部旗」 制定 5 月ワッペン制定 隊友会団体保険制定 3 BOAC 機墜落災害派遣	1 「第 3 次防衛力整備計画の主要 項目」 決定 ② 退職幹部に対する自衛隊通門証 交付申請	1 米原子力空母、日本に初寄港		1 三島由紀夫割腹自殺 市ヶ谷 2 第一回防衛白書発表 3 安保条約自動継続 ④ 「隊友会」 創立 1 0 周年
会 長	藤沼 清	藤沼 清	藤沼 清	藤沼 清	藤沼 清 (8 月) 小川 左右民
副 会 長	黒川 日出松 川又 幸一 武田 孝	黒川 日出松 松戸 郁三郎 野口 邦雄 古川 治雄	黒川 日出松	黒川 日出松	黒川 日出松 佐藤 佐平
事 務 局 長	千葉地方連絡部援護課長				
県主要行事	1 総会 県自治会館 9 月 国府軍の現況、ベトナム戦の現況 台湾問題から見た日本の防衛 2 会員 5,000 名の確保目標 3 銚子地区連合部会を香取郡市地 区支部連合部会と銚子地区支部 連合部会に分割発足 4 年会費 300 円 5 青年会議、青年団、消防団等との 緊密な連携 6 東邦生命と代理店契約覚書	1 役員総会 10 月 県自治会館 2 会員 5,000 名の確保目標 3 地区連合部会の結成 銚子、佐原 4 退職幹部の入会促進 5 郷友会との連携強化 6 千葉地区自衛隊記念パレード支 援 11 月	1 総会 8 月 塚本ホール 300 名 2 予備自衛官招集訓練時懇談 習志野、下志津 各 2 回 3 殉職隊員慰霊祭 10 月 習志野 4 入隊者壮行会 2 月	1 役員総会 11 月 2 防衛講演会参加 11 月 3 県支部連合修親部会発会 11 月 4 殉職隊員慰霊祭 11 月 5 入隊者壮行会 2 月 6 予備自衛官招集訓練時懇談 6 月 7 南極観測船「ふじ」の案内協力 8 会員の正統な実数調査 9 月	1 総会 8 月 習志野駐屯地 終了後友の会グループの演芸大会 等実施 (部隊との共催) 2 殉職隊員慰霊祭 10 月 3 中央式典観閲式に初めて隊友会 参加 (佐藤副会長以下 3 名) 4 隊友会 10 周年記念大会参加 10 月 5 千葉県支部から千葉県支部連合 会に名称変更 連合会長×1 名、副会長×2 名 6 事務局を新設 会長が任命
会 員 数	4,375 名 11 地区連合会評議会	4,385 名	4,385 名	1,773 名 ☆地域支部 9 個 1,549 名 *職域支部 8 個 224 名	1,764 名
在業部隊の主要 行事 (沿革)		1 高射学校本部庁舎開庁式 2 空挺団本部庁舎開庁式	1 「第 221 教育航空隊」小月航空 基地へ移駐 (館山) 2 空自部隊入間基地へ移転し、 第 1 ヘリコプター団が霞ヶ浦駐 屯地から移駐 陸自木更津駐屯 地となる。 (木更津)	* 川鉄千葉製鉄所 富士電機千葉工場 古川電機千葉電線製造所 川鉄運輸千葉支店 泉葉運輸 小湊鉄道塩田営業所 日立製作所茂原工場 川崎電機千葉工場	☆ 千葉 市川 船橋 東葛 長生 下総 安房 銚子 夷隅

区 分	1971 年 (昭和 46 年)	1972 年 (昭和 47 年)	1973 年 (昭和 48 年)	1974 年 (昭和 49 年)	1975 年 (昭和 50 年)
自衛隊の歴史& 隊友会主要活動	1 過激派による警衛隊員殺傷事件 (朝霞駐屯地) 2 沖縄防衛協定調印	1 沖縄返還に伴う部隊移駐 2 「第 4 次防衛力整備計画の大綱」 決定 3 自衛隊立川移駐	1 中央式典 神宮外苑から朝霞へ 2 長沼ナイキ訴訟自衛隊違憲判決 3 自衛隊沖縄配備完了 4 「平和時の防衛力」策定	1 防衛医科大学開校	1 各師団に音楽隊新編
会 長	小川 左右民	小川 左右民	小川 左右民	小川 左右民	小川 左右民
副 会 長					
事 務 局 長					
県主要行事					
会 員 数		地域支部 9 支部 職域支部 10 支部	地域支部 9 支部 職域支部 11 支部	地域支部 9 支部 職域支部 11 支部	2,259 名 地域支部 9 支部 職域支部 11 支部
在葉部隊の主要 行事 (沿革)		1 空挺団 C-1 試験降下開始 (習志野)	1 「教育航空集団司令部」が移駐し 「第 4 航空群」厚木基地へ転出 (下総) 2 「第 121 飛行隊」の新編 (館山)	1 「下総教育航空群」を編成 (下総) 2 「第 121 航空隊」に改編 「第 221 教育航空隊」鹿屋へ移駐 (館山)	

区 分	1976 年 (昭和 51 年)	1977 年 (昭和 52 年)	1978 年 (昭和 53 年)	1979 年 (昭和 54 年)	1980 年 (昭和 55 年)
自衛隊の歴史& 隊友会主要活動	1 ミグ 25 函館空港強行着陸事件 2 防衛費対 GNP1%枠を閣議決定 3 F-15 戦闘機内定	1 ソ連駆逐艦領海侵犯 2 P3-C 配備内定	1 来栖統幕議長「超法規」辞任 2 有事立法、民防体制検討指示 3 日米防衛協力の指針発表	1 思いやり予算開始 2 国後、択捉にソ連軍恒久的配備 3 日米安保事務レベル協議	1 宮永秘密漏洩事件 2 海自、リムパックに初参加 ③ 「隊友会」創立 20 周年
会 長	小川 左右民	小川 左右民	小川 左右民	小川 左右民	富岡 幸雄
副 会 長					
事 務 局 長		井上 俊夫	深谷 昭雄	深谷 昭雄	深谷 昭雄
県主要行事		1 理事会 6月11日 2 募集広報ポスター貼付 3 広報映画の上映 東葛地区	1 連合会役員会 6月 千葉地連 2 連合会総大会 10月 鴨川望洋荘 3 ブロック会議参加 10月 4 会報発刊 5月 10月 事務連絡 5 県連だより 7月 活動状況等 6 修親部会の実施 7 臨時役員会 5月 千葉地連 8 活動する隊友会の育成 200 余名の新入会員		
会 員 数	地域支部 9 支部 職域支部 9 支部	地域支部 9 支部 職域支部 11 支部	2,117 名 地域支部 9 支部 1,873 名 *職域支部 8 支部 244 名	地域支部 9 支部 * 職域支部 5 支部	2,225 名 地域支部 10 支部 職域支部 4 支部
在業部隊の主要 行事 (沿革)			* 川鉄千葉 富士電気 古河電工 三井造船 泉葉運輸 小湊鉄道 日立茂原 旭リース	* 川鉄千葉 古河電工 三井造船 小湊鉄道 日立茂原	

区 分	1981 年（昭和 56 年）	1982 年（昭和 57 年）	1983 年（昭和 58 年）	1984 年（昭和 59 年）	1985 年（昭和 60 年）
自衛隊の歴史& 隊友会主要活動		1 日米共同指揮所演習開始 2 防大出身者初の「将補」 3 日米共同実動訓練開始	1 空自 日米共同指揮所訓練開始	1 山口射場における小銃乱射事件	1 日航機御巢鷹山墜落による災害派遣 2 「中期防衛力整備計画」決定
会 長	富岡 幸雄	富岡 幸雄	富岡 幸雄	富岡 幸雄	富岡 幸雄
副 会 長					
事 務 局 長					
県主要行事				1 関東甲信越静ブロック研修会 担当 9 月 100 名	1 総会 峯岡山レーダーサイト研修 (大型バス 6 台)
会 員 数	2,453 名 地域支部 17 支部 職域支部 3 支部	2,583 名 地域支部 18 支部 職域支部 3 支部	2,657 名 地域支部 17 支部 職域支部 3 支部	2,800 名 地域支部 19 支部 職域支部 3 支部	3,019 名 地域支部 20 支部 職域支部 3 支部
在葉部隊の主要 行事（沿革）				1 空挺団 C-130H 試験降下開始 (習志野)	

区 分	1986 年 (昭和 61 年)	1987 年 (昭和 62 年)	1988 年 (昭和 63 年)	1989 年 (平成元年)	1990 年 (平成 2 年)
自衛隊の歴史& 隊友会主要活動	「安全保障会議設置法」成立	「今後の防衛力整備について」決定	FS-X 共同開発に関する日米政府間 の交換公文署名	1 「防衛力検討委員会」設置 2 大喪の礼に伴う外国要人輸送、儀 仗、と列等の実施	① 「隊友会」創立 30 周年 2 即位の礼に伴う外国要人輸送、儀 仗、と列等の実施
会 長	富岡 幸雄	富岡 幸雄	富岡 幸雄	富岡 幸雄	富岡 幸雄
副 会 長	藤原 安治 井上 俊夫 浅川 政一 倉重 翼 瀬川 忠行 中西 孝雄	藤原 安治 井上 俊夫 浅川 政一 倉重 翼 瀬川 忠行 中西 孝雄 佐々木 昭博	藤原 安治 井上 俊夫 浅川 政一 倉重 翼 瀬川 忠行 中西 孝雄 佐々木 昭博	藤原 安治 井上 俊夫 浅川 政一 倉重 翼 瀬川 忠行 中西 孝雄 佐々木 昭博	藤原 安治 田口 昭雄 浅川 政一 倉重 翼 瀬川 忠行 中西 孝雄
事 務 局 長	瀬川 忠行 (兼)	瀬川 忠行 (兼)	夜久 静雄	夜久 静雄	瀬川 忠行 (兼)
県主要行事	1 総会 6 月 1 日 松戸駐屯地 2 研修 百里基地 (大型バス 9 台) 3 予備自部会総会 10 月 習志野駐屯地 4 未地域支部結成促進 館山、銚子、茂原 5 銃剣道部会新設	1 総会 5 月 24 日 下志津駐屯地 2 研修 8 月 横須賀基地 (15 台) 3 予備自総会及び研修 9 月 6 日 富士地区 4 修親部会懇親会 2 月 11 日千葉市 5 防衛講演会 松戸市	1 総会 6 月 12 日 習志野駐屯地 2 研修 各支部計画 3 予備自総会 6 月 12 日 習志野駐屯地 4 建国記念祝賀会 2 月 11 日千葉市 5 防衛講演会 千葉市 6 館山支部及び大日精化支部結成	1 総会 5 月 28 日 浜野玉姫殿 2 研修 各支部計画 3 予備自総会 10 月 1 日 下志津駐屯地 4 修親部会懇親会 2 月 11 日千葉市 5 県連会員名簿印刷配布	1 総会 6 月 17 日 下総基地 2 研修 9 月 百里基地 (中央式典) 3 予備自総会 11 月 18 日 習志野駐屯地 4 修親部会懇親会 2 月 24 日千葉市 5 本部 30 周年記念行事参加 5 月 6 「北方領土返還運動」「英霊にこ たえる会」等に参加
会 員 数	3,019 名 (終 1,762 名 年 1,257 名) 地域支部 20 支部 2,374 名 職域支部 3 支部 68 名 未支部会員 577 名	3,322 名 (終 2,044 名 年 1,278 名) 地域支部 20 支部 2,714 名 職域支部 4 支部 127 名 未支部会員 481 名	3,612 名 (終 2,295 名 年 1,317 名) 地域支部 21 支部 3,058 名 職域支部 4 支部 122 名 未支部会員 432 名	3,916 名 (終 2,555 名 年 1,361 名) 地域支部 21 支部 3,180 名 職域支部 4 支部 125 名 未支部会員 611 名	4,204 名 (終 2,802 名 年 1,402 名) 地域支部 21 支部 3,667 名 職域支部 4 支部 129 名 未支部会員 408 名
- 在葉部隊の主要 行事 (沿革)	特別輸送飛行隊の新編 (木更津)	下総教育航空群に P3-C 配備		第 123 航空隊が第 124 航空隊として 新編 (館山)	

区 分	1991 年（平成 3 年）	1992 年（平成 4 年）	1993 年（平成 5 年）	1994 年（平成 6 年）	1995 年（平成 7 年）
自衛隊の歴史& 隊友会主要活動	1 掃海艇等 6 隻ペルシャ湾へ派遣 2 雲仙普賢岳噴火災害派遣	1 政府専用機防衛庁へ所属替 2 「国際平和協力法」等成立 3 カンボディア PKO 開始 4 国連イラク化学調査団へ自衛官	1 第 1 回目露防衛研究交流 2 モザンビーク PKO 開始	1 内閣総理大臣の下に「防衛問題懇 談会」発足 2 「防衛力の在り方検討会議」発足 3 ルワンダ難民救援隊派遣	1 阪神・淡路大震災災害派遣 2 地下鉄サリン事件化防隊派遣 3 雲仙普賢岳災害派遣終了 (延べ 1,658 日) 4 「中期防衛力整備計画」決定
会 長	富岡 幸雄	富岡 幸雄	瀬川 忠行	瀬川 忠行 陸	瀬川 忠行 陸
副 会 長	藤原 安治 田口 昭雄 浅川 政一 倉重 翼 瀬川 忠行 中西 孝雄	藤原 安治 田口 昭雄 浅川 政一 倉重 翼 瀬川 忠行 中西 孝雄 中川 芳一	藤原 安治 中西 孝雄 田口 昭雄 中川 芳一	中川 芳一 陸 二宮 俊夫 海 武蔵 喜治 空 政狩 圭亮 空	細谷 集三 陸 二宮 俊夫、原島 昌人 海 武蔵 喜治 空 政狩 圭亮 空
事 務 局 長	瀬川 忠行（兼）	瀬川 忠行（兼）	細谷 集三	細谷 集三	細谷 集三（兼）
県主要行事	1 総会 5 月 12 日 木更津駐屯地 2 研修 各支部計画 3 予備自部会総会 9 月 下志津 4 高在生入隊激励会 2 月 四街道 5 「予備自衛官と隊友会」小冊配布 6 国民運動推進 7 12 年以上の終身会員寄付開始 寄付金 300 万円	1 総会 5 月 24 日 松戸駐屯地 2 研修親睦旅行 8 月 横須賀基地 3 予備自総会 10 月 館山基地 4 高在生入隊激励会 3 月 千葉市 5 千葉県音楽祭共催 6 月 四街道 6 PKO 等募金 280 万円 7 千葉、四街道支部→6 個支部分割 寄付金 137 万円	1 総会 5 月 23 日 下志津駐屯地 2 予備自部会総会 5 月 下志津 3 音楽祭 7 月 千葉県文化会館 4 防衛講演会 6 月 千葉市民会館 5 高在生入隊激励会 2 月 千葉市 寄付金 82 万円	1 総会 5 月 15 日 木更津駐屯地 2 音楽祭 6 月 千葉県文化会館 3 高在生入隊激励会 2 月 千葉市 寄付金 万円	1 総会 5 月 下総基地 2 音楽祭 6 月 千葉市 3 高在生入隊激励会 3 月 千葉市 寄付金 108 万円
会 員 数	4,440 名（終 2,965 名 年 1,475 名） 地域支部 21 支部 3,965 名 職域支部 4 支部 133 名 未支部会員 475 名	4,526 名（終 3,128 名 年 1,398 名） 地域支部 26 支部 4,001 名 職域支部 4 支部 129 名 未支部会員 396 名	4,580 名（終 3,284 名 年 1,296 名） 地域支部 26 支部 3,995 名 職域支部 4 支部 123 名 未支部会員 462 名	4,741 名（終 3,391 名 年 1,350 名） 地域支部 26 支部 4,126 名 職域支部 4 支部 124 名 未支部会員 491 名	4,751 名（終 3,565 名 年 1,186 名） 地域支部 27 支部 4,136 名 職域支部 4 支部 124 名 未支部会員 491 名
在葉部隊の主要 行事（沿革）			下総教育航空群に救難飛行隊が編成 (下総)	空挺団 50 万回無事故降下達成 (習志野)	新自由降下傘（MC-4）使用開始 (習志野)

区 分	1996 年（平成 8 年）	1997 年（平成 9 年）	1998 年（平成 10 年）	1999 年（平成 11 年）	2000 年（平成 12 年）
自衛隊の歴史& 隊友会主要活動	1 ゴラン高原 PKO 開始 2 「日米安全保障共同宣言」	1 ナホトカ号海難・流出油災害派遣 2 情報本部新設	1 「対人地雷禁止条約」に批准 2 ホンジュラスに国際緊急援助隊 を派遣	1 能登半島沖不審船に対する海上 警備行動を発令 2 東海村ウラン加工施設臨界事故	1 有珠山災害派遣 2 防衛庁市ヶ谷庁舎へ移転 3 三宅島火山噴火災害派遣 ④「隊友会」創立 40 周年
会 長	瀬川 忠行 陸	政狩 圭亮 空	政狩 圭亮 空	富田 成昭 海	富田 成昭 海
副 会 長	細谷 集三 陸 二宮 俊夫、原島 昌人 海 武蔵 喜治、政狩 圭亮 空	細谷 集三 陸 二宮 俊夫、原島 昌人 海	細谷 集三 陸 二宮 俊夫、原島 昌人 海 武多 睦夫 空	細谷 集三 陸 二宮 俊夫、原島 昌人 海 武多 睦夫 空	細谷 集三 陸 原島 昌人 海 武多 睦夫 空 田中 稔 海
事 務 局 長	細谷 集三（兼） 陸	細谷 集三（兼） 陸	細谷 集三（兼） 陸	細谷 集三（兼） 陸	細谷 集三（兼） 陸
県主要行事	1 総会 5 月 12 日 下志津駐屯地 2 音楽祭 6 月 千葉県文化会館 3 高在生入隊激励会 3 月 千葉市 4 地区支部協議会の廃止、緊急連絡 網の整備に着手 5 茂原支部結成 寄付金 130 万円	1 総会 5 月 松戸駐屯地 2 音楽祭 6 月 千葉県文化会館 3 高在生入隊激励会 3 月 千葉市 4 稲毛支部を再生し市原支部が木 更津支部から独立 5 県会長の陸・海・空持ち回り制 スタート 寄付金 276 万円	1 総会 5 月 習志野駐屯地 2 高在生入隊激励会 3 月 千葉市 3 沼南支部及び白井支部を結成準 備 寄付金 70 万円	1 総会 5 月 川鉄千葉工場 2 高在生入隊激励会 3 月 千葉市 3 安芸支部を再生し、沼南及び白井 支部結成 寄付金 193 万円	1 総会 5 月 下志津基地 2 高在生入隊激励会 3 月 千葉市 3 千葉県隊友会名簿作成配布 11 月 4 浦安及び佐原・香取支部結成準備 寄付金 235 万円
会 員 数	4,751 名（終 3,565 名 年 1,186 名） 地域支部 27 支部 4,162 名 職域支部 4 支部 136 名 未支部会員 453 名	4,661 名（終 3,607 名 年 1,054 名） 地域支部 27 支部 4,074 名 職域支部 4 支部 132 名 未支部会員 455 名	4,671 名（終 4,083 名 年 999 名） 地域支部 28 支部 4,083 名 職域支部 4 支部 125 名 未支部会員 463 名	4,681 名（終 3,717 名 年 964 名） 地域支部 29 支部 4,242 名 職域支部 4 支部 128 名 未支部会員 311 名	4,615 名（終 3,745 名 年 870 名） 地域支部 29 支部 4,184 名 職域支部 4 支部 131 名 未支部会員 300 名
在葉部隊の主要 行事（沿革）	1 教育航空集団司令部新庁舎 完成（下総）		1 第 124 航空隊が第 123 航空隊に 名称変更（館山） 2 下総航空工作所廃止され航空補 給処下総支処編成（下総） 3 需品補給処廃止し関東補給処松 戸支処として新編（松戸） 4 需品学校駐屯地司令業務の引継 5 海上自衛隊航空補給処から補給 本部隷下の航空補給処に改編 （木更津基地）	1 護衛艦「はるな」艦載の第 123 航空隊所属機が能登半島沖不審船 事件に出動しビデオ撮影（館山）	12 傘（空挺傘 M696M1）使用開始 （習志野）

区 分	2001 年 (平成 13 年)	2002 年 (平成 14 年)	2003 年 (平成 15 年)	2004 年 (平成 16 年)	2005 年 (平成 17 年)
自衛隊の歴史& 隊友会主要活動	1 アフガン難民救援 PKO 実施 2 インドへの国際緊急援助隊派遣 3 「テロ対策特措法」成立 4 補給艦等インド洋へ派遣	東ティモール PKO 実施	イラク難民救援 PKO 実施計画等閣 議決定	1 イラク復興支援群等派遣 2 新潟県中越地震災害派遣	
会 長	富田 成昭 海	富田 成昭 海	細谷 集三 陸	細谷 集三 陸	内山 修 空
副 会 長	細谷 集三 陸 原島 昌人 海 武多 睦夫 空 田中 稔 海	細谷 集三 陸 原島 昌人 海 古屋 喜久雄 空 河上 昭 海	河上 昭 海 村田 純一 陸 古屋 喜久雄 空 築山 正 事	河上 昭 海 村田 純一 陸 諸石 直樹 空 築山 正 事	諸石 直樹 空 松原 廣道 海 藤尾 秀治 陸 石井 丑五郎 事
事 務 局 長	正村 千秋	細谷 集三 (5 月以降兼) 陸	村田 純一 (兼) 陸	村田 純一 (兼) 陸	井本 敏夫 陸
県主要行事	1 総会 5 月 下総基地 2 高在生入隊激励会 3 月 千葉市 3 地区隊友会 (東葛地区) を新設 4 浦安及び佐原・香取支部結成 5 職域支部三井造船廃止 寄付金 248 万円	1 総会 5 月 習志野駐屯地 2 高在生入隊激励会 3 月 千葉市 3 建国記念祝賀会 2 月 千葉市 4 海外活動支援募金 275 万円 (13 年度から実施) 寄付金 340 万円	1 総会 5 月 木更津基地 2 高在生入隊激励会 3 月 千葉市 3 建国記念祝賀会 2 月 千葉市 4 イラク派遣自衛隊への支援開始 5 千葉県隊友会名簿作成配布 6 東総及び山武東金支部結成 寄付金 218 万円	1 総会 5 月 松戸駐屯地 2 高在生入隊激励会 3 月 千葉市 3 四街道、成田、千葉美浜、八千代 の 4 個支部広報誌等発刊 4 関東甲信越静ブロック研修会担 当 5 職域支部の川鉄、小湊支部の合併 寄付金 259 万円	1 総会 4 月 下総基地 2 第一空挺団イラク復興支援部隊 の壮行会 1 月 3 憲法改正 100 万人署名運動参加 及び PKO 募金活動 4 習志野、市原、館山、白井、千葉 稲毛、川鉄・小湊：「支部便り」 寄付金 204 万円
会 員 数	4,638 名 (終 3,742 名 年 896 名) 地域支部 31 支部 4,267 名 職域支部 3 支部 136 名 未支部会員 235 名	4,574 名 (終 3,752 名 年 822 名) 地域支部 31 支部 4,223 名 職域支部 3 支部 130 名 未支部会員 221 名	4,600 名 (終 3,762 名 年 838 名) 地域支部 33 支部 4,384 名 職域支部 3 支部 130 名 未支部会員 86 名	4,654 名 (終 3,747 名 年 907 名) 地域支部 33 支部 4,481 名 職域支部 2 支部 134 名 未支部会員 39 名	4,698 名 (終 3,765 名 年 993 名) 地域支部 33 支部 4,523 名 職域支部 2 部 136 名 未支部会員 39 名
在葉部隊の主要 行事 (沿革)		管理中隊等を廃止し、後方支援隊 に改編 (習志野)		1 特殊作戦群を新編 (習志野) 2 普通科群を廃止し 3 個普通科大隊 を新編 (空挺団の改編)	

区 分	2006 年 (平成 18 年)	2007 年 (平成 19 年)	2008 年 (平成 20 年)	2009 年 (平成 21 年)	2010 年 (平成 22 年)
自衛隊の歴史& 隊友会主要活動	1 統合幕僚監部発足 2 イラク派遣の陸自撤退完了 7 月	1 防衛庁が防衛省に昇格 2 中央即応集団新編 3 新潟県中越沖地震災害派遣 4 防衛関連企業接待疑惑	1 護衛艦と漁船の衝突事故 2 防衛省改革	1 ソマリア沖・アデン湾海賊対処 2 北朝鮮ミサイル対処 PAC-3 3 インド洋給油活動終了 4 ハイチPKO部隊派遣	① 「隊友会」創立50周年 2 新防衛大綱作成 3 パキスタン国際緊急援助隊派遣 4 東日本大震災災害派遣 3.11
会 長	内山 修 空	酒井 英元 海	酒井 英元 海	藤尾 秀治 陸	藤尾 秀治 陸
副 会 長	諸石 直樹 空 松原 廣道 海 藤尾 秀治 陸 石井 丑五郎 事	藤尾 秀治 陸 山田 正二 空 宮地 稔 海 石井 丑五郎 事	藤尾 秀治 陸 山田 正二 空 宮地 稔 海 石井 丑五郎 事	後藤 英二 陸 山田 正二 空 宮地 稔 海 石井 丑五郎 事	富田 稔 陸 山田 正二 空 宮地 稔 海 入江 千昭 事
事 務 局 長	井本 敏夫 陸	藤本 四郎 陸	後藤 英二 陸	後藤 英二 陸	富樫 治光 空
県主要行事	1 総会 4 月 三井ガーデンホテル 2 空挺団イラク復興支援部隊及び 松戸、下志津駐屯地等要員の壮 行激励・帰国慰労会の実施 3 会員名簿の整理 4 内山会長死去 寄付金 132 万円	1 総会 4 月 三井ガーデンホテル 2 防衛講話 イラク、インド洋活動 3 県隊友会第1回ゴルフ大会 5 月 4 副事務局長職を設け本部強化 5 メール網の整備 (IT化促進) 6 会活動に関するアンケート実施 7 公益法人改革への的確な対応 寄付金 198 万円	1 総会 4 月 三井ガーデンホテル 2 県隊友会第2回ゴルフ大会 5 月 3 千葉県隊友会事務所開設 9 月 4 新聞作業等を手作業に変更 5 会員の再掌握及び名簿整理推進 6 会員名簿管理に関する内規制定 7 会費納入時期の変更 (前払) 寄付金 140 万円	1 総会 4 月 三井ガーデンホテル 2 部隊研修 7 月 PAC-3 3 県隊友会第3回ゴルフ大会 5 月 4 会員の福祉・厚生と相互扶助推進 5 公益事業の成果調査・報告 6 川鉄・小湊支部解散 7 県隊友会HPリニューアル 8 新聞配達費の節減継続 寄付金 237 万円	1 総会 4 月 三井ガーデンホテル 2 部隊研修 11 月 木更津ヘリ団 3 県隊友会第4回ゴルフ大会 5 月 4 護国神社春秋例大祭ご奉仕 5 殉職自衛官の合同慰霊祭参加 6 ああ特攻勇士の像への奉賛 7 特別会員市ヶ谷研修 1 月 8 防災情報ネットワーク・ 防災情報協力員制度 協定締結 3 月 14 日 習志野 寄付金 179 万円
会 員 数	4,660 名 (終 3,822 名 年 838 名) 地域支部 34 支部 4,497 名 職域支部 2 支部 125 名 未支部会員 38 名	4,690 名 (終 3,809 名 年 881 名) 地域支部 34 支部 4,497 名 職域支部 2 支部 125 名 未支部会員 38 名	4,254 名 (終 3,454 名 年 800 名) 地域支部 34 支部 4,093 名 職域支部 2 支部 117 名 未支部会員 44 名	3,978 名 (終 3,358 名 年 620 名) 地域支部 34 支部 3,845 名 職域支部 1 支部 88 名 未支部会員 45 名	3,740 名 (終 3,185 名 年 555 名) 地域支部 34 支部 3,619 名 職域支部 1 支部 89 名 未支部会員 32 名
在葉部隊の主要 行事 (沿革)		1 第 308 高射中隊を第 334 高射 中隊に改編 (下志津) 2 空挺団を東方隷下から中央即 応集団隷下に編成替え 3 第一ヘリ団を大臣直轄から中 央即応集団隷下に編成替え (木更津) 4 第 1 高射隊に PAC-3 配備 (習志野分屯基地)	1 下総救難飛行隊廃止 UH-60J 館山航空基地へ 2 第 307 高射中隊を第 336 高射 中隊に改編 (柏訓練場) 3 第 1、第 2 ヘリコプター隊を廃止 し、第 1 ヘリコプター群を新編 4 第 102 飛行隊を新編 (木更津) 5 特別輸送飛行隊を廃止し、特別輸 送ヘリコプター隊を新編 6 第 21 航空群隷下部隊再編と新編 (館山)	1 第 305 高射中隊を第 337 高射中隊 に改編し、古河へ移駐 (松戸) 2 第 21 航空隊隷下「しらせ飛行科」 岩国航空基地へ移駐 (館山)	

区 分	2011 年 (平成 23 年)	2012 年 (平成 24 年)	2013 年 (平成 25 年)	2014 年 (平成 26 年)	2015 年 (平成 27 年)
自衛隊の歴史& 隊友会主要活動	1 東日本大震災災害派遣 大規模震災対処 8 月 31 日終了 原子力災害対処 12 月 26 日終了 2 南スーダン PKO 部隊派遣	1 ハイチ派遣国際救援隊活動終了 25 年 1 月 派遣期間 約 3 年 2 ゴラン高原派遣輸送隊活動終了 25 年 1 月 派遣期間 約 17 年	1 25 大綱作成 2 26 中期防作成		1 安全保障関連法成立 9 月 19 日 2 安全保障関連法施行 3 月 29 日 3 防衛装備庁発足 10 月 1 日
会 長	山田 正二 空	山田 正二 空	富田 稔 陸	富田 稔 陸	河野 美登 海
副 会 長	富田 稔 陸 日高久満男 空 宮地 稔 海 入江 千昭 事	富田 稔 陸 日高久満男 空 宮地 稔 海 入江 千昭 事	精山 英人 (兼) 陸 日高久満男 空 河野 美登 海 入江 千昭 事	小渕 信夫 陸 浮城 洋一 空 河野 美登 海 入江 千昭 事	小渕 信夫 陸 浮城 洋一 空 安達 孝明 海 入江 千昭 事
事 務 局 長	富樫 治光 空	精山 英人 陸	精山 英人 陸	精山 英人 陸	精山 英人 陸
県主要行事	1 総会 4 月 茜浜ホール 2 防災情報ネットワーク・ 防災情報協力員制度 覚書締結 4 月 20 日 茜浜ホール 新習志野 3 東日本大震災募金活動 約 700 万 4 防災ボランティア活動 延 14 名 5 総会議決権の代理行使 約 53% 6 県隊友会第 5 回ゴルフ大会 11 月 7 ああ特攻勇士の像竣工・除幕 5 月 <u>公益社団法人隊友会の設立 4 月</u> 寄付金 177 万円	1 総会 4 月 三井ガーデンホテル 2 防災セミナー 4 月 23 日 千葉市文化センター 佐藤参院議員、熊谷千葉市長 山之上空挺団長、火箱前陸幕長 3 県隊友会第 6 回ゴルフ大会 5 月 4 部隊研修 下総基地 6 月 110 名 5 総会議決権の代理行使 約 66% 6 九都県市合同防災訓練研修 9 月 寄付金 149 万円	1 総会 4 月 三井ガーデンホテル 2 防衛講演会 4 月 23 日 同上 講師：佐藤防衛大臣政務官 演題：「私達の守るべきもの」 3 県隊友会第 7 回ゴルフ大会 5 月 4 部隊研修 峯岡山 12 月 3 日 90 名 5 防衛セミナー 2 月 15 日 千葉市民会館(聴衆約 400 名) 宇都参院議員、小林衆院議員、 熊谷千葉市長、金田氏、用田氏 寄付金 169.5 万円	1 総会 4 月 三井ガーデンホテル 2 第 8 回ゴルフ大会 67 名参加 5 月 3 関東甲信越静ブロック研修会 9 月 30 日～10 月 1 日 ホテルグリーンタワー幕張他 5 九都県市合同防災訓練研修 9 月 4 部隊研修松戸 11 月 19 日 65 名 6 退職予定者への入会説明 4 回 寄付金 128.3 万円	1 総会 4 月 三井ガーデンホテル 2 第 9 回ゴルフ大会 5 月 67 名 3 防衛講演会の実施 7 月 17 日 茜浜ホール 74 名 講師：宇都隆史参議院議員 4 九都県市合同防災訓練研修 8 月 防災ボランティア常総市 9 月 17 日、19 日～25 日 (延べ 73 人日) 5 部隊研修館山 11 月 11 日 70 名 寄付金 113.5 万円
会 員 数	3,419 名 (終 2,899 名 年 517 名) 地域支部 34 支部 3,288 名 職域支部 1 支部 92 名 未支部会員 39 名	3,385 名 (終 2,843 名 年 542 名) 地域支部 34 支部 3,249 名 職域支部 1 支部 99 名 未支部会員 37 名	3,292 名 (終 2,742 名 年 517 名) 地域支部 34 支部 3,164 名 職域支部 1 支部 98 名 未支部会員 30 名	3,236 名 (終 2,696 名 年 540 名) 地域支部 34 支部 3,108 名 職域支部 1 支部 98 名 未支部会員 30 名	3,196 名 (終 2,656 名 年 540 名) 地域支部 34 支部 3,069 名 職域支部 1 支部 99 名 未支部会員 28 名
在葉部隊の主要 行事 (沿革)	1 第 205 教育航空隊廃止 YS-11 T-A 用廃 (下総)				

区 分	2016 年（平成 28 年）	2017 年（平成 29 年）	2018 年（平成 30 年）	2019 年(平成 31 年→令和元年)	2020 年（令和 2 年）
自衛隊の歴史& 隊友会主要活動	熊本地震災害派遣 4 月	陸上総隊、水陸機動団新編 3 月 27 日	宮古駐屯地開設平成 31 年 3 月 26 日	天皇陛下即位の礼	東京オリンピック 1 年延期 ① 参加者縮小し定時総会開催
会 長	河野 美登 海	小渕 信夫 陸	小渕 信夫 陸	安達 孝昭 海	安達 孝昭 海
副 会 長	小渕 信夫 陸 塚本 修由 空 安達 孝昭 海 入江 千昭 事	欠 陸 欠 空 安達 孝昭 海 田中 誠一 事	欠 陸 欠 空 安達 孝昭 海 田中 誠一 事	神原 誠司 陸 青木 清治 空 日向 錦次郎 海 田中 誠一 事	神原 誠司 陸 青木 清治 空 日向 錦次郎 海 田中 誠一 事
事 務 局 長	精山 英人 陸	精山 英人 陸	精山 英人 陸	精山 英人 陸	大根 正雄 陸
県主要行事	1 総会 4 月 三井ガーデンホテル 2 熊本地震義援金の募金 986 名 2,776,000 円 3 防衛講演会の実施 5 月 9 日 千葉市民会館 約 400 名 講師：宇都隆史参議院議員 4 県隊友会第 10 回ゴルフ大会 5 月 5 JXR（統合防災）演習研修 7 月 6 会勢拡大駐屯地司令・最先任上 級曹長等に対する説明・懇談等 （下志津、松戸） 寄付金 101.9 万円	1 総会 4 月 三井ガーデンホテル 2 防衛講演会の実施 4 月 19 日 三井ガーデンホテル 116 名 講師：教育航空集団司令官 渡邊次郎海将 3 千葉県との防災協定を締結 3 月 22 日 千葉県庁 4 県防災備蓄倉庫の研修 10～12 月 5 自衛隊家族支援協力の実施 25 名 6 海自護衛艦「いずも」研修 111 名 7 会勢拡大 下総、習志野、下志津 説明懇談 寄付金 89.5 万円	1 総会 4 月 三井ガーデンホテル 2 部隊等研修 11 月 28 日 松戸駐屯地 38 名 3 第一回九都県市合同防災訓練参 加 千葉県庁 10 名 4 県防災備蓄品払出訓練参加 5 会勢拡大施策 入会説明・懇談 下総、下志津、館山 6 県隊友会第 12 回ゴルフ大会 5 月 7 自衛隊家族支援協力 寄付金 74.5 万円	1 総会 4 月 三井ガーデンホテル 2 防衛講演会の実施 4 月 17 日 三井ガーデンホテル 100 名 講師：佐藤正久参議院議員 3 台風 15・19 号被災会員に対する 見舞金 57 名 4 県防災備蓄品払出訓練参加 5 会勢拡大施策 入会説明・懇談 下総、下志津 6 ゴルフ大会荒天・台風の為中止 7 自衛隊家族支援協定締結 9.20 寄付金 73.7 万円	1 総会 全会員の書面による決議 2 県防災備蓄品払出訓練参加 3 相談役の委嘱（在葉指揮官 11 名 →千葉地方協力本部長のみ） 4 中級管理講習講師派遣 下総 2 回 5 会勢拡大施策（入会者半減） 尉官～1 曹の定年延長の為 6 財務基盤の改善強化 75 歳以上の終身会員に会運営協力 金を依頼 7 会計担当事務局員を配置 寄付金 389 万円
会 員 数	3,162 名（終 2,580 名、582 名） 地域支部 34 支部 3,039 名 職域支部 1 支部 97 名 未支部会員 26 名	3,100 名（終 2,471 名、年 629 名） 地域支部 34 支部 2,977 名 職域支部 1 支部 99 名 未支部会員 24 名	3,055 名（終 2,368 名、年 687 名） 地域支部 34 支部 2,931 名 職域支部 1 支部 101 名 未支部会員 23 名	2,881 名（終 2,267 名、年 614 名） 地域支部 34 支部 2,860 名 職域支部 0 支部 0 名 未支部会員 21 名	2,748 名（終 2,142 名、年 606 名） 地域支部 34 支部 2,730 名 未支部会員 18 名
在葉部隊の主要 行事（沿革）		1 中央即応集団廃止により 陸上総隊隷下に編入 3 月 27 日付 第 1 空挺団 第 1 ヘリコクター団 特殊作戦群		新型コロナウイルスの為、部外者の 関連する諸行事を中止し、コロナウ イルス事案に対する災害派遣を実施	1 いすみ市鳥インフルエンザ災派 第 1 空挺団、高射学校、需品学校 2 足利市山林火災災害派遣 第 1 ヘリ団

区 分	2021 年（令和 3 年）	2022 年（令和 4 年）	2023 年（令和 5 年）	2024 年(令和 6 年)	2025 年（令和 7 年）
自衛隊の歴史& 隊友会主要活動	1 東京オリパラ協力支援 2 定年延長終了	石垣駐屯地開設 令和5年3月16日	スーダン邦人輸送支援の為自衛隊機 派遣 ジブチ 能登半島地震災害派遣		
会 長	神原 誠司 陸	神原 誠司 陸	菊地 聡 海	菊地 聡 海	
副 会 長	欠 陸 青木 清治 空 菊地 聡 海 田中 誠一 事	欠 陸 青木 清治 空 菊地 聡 海 田中 誠一 事	欠 陸 青木 清治 空 欠 海 田中 誠一 事	欠 陸 青木 清治 空 欠 海 田中 誠一 事	
事 務 局 長	大根 正雄 陸	大根 正雄 陸	大根 正雄 陸	大根 正雄 陸	
県主要行事	1 総会 4 月 生涯学習センター 講演会 千葉地本長及び 矢野一樹氏 2 「支部組織の在り方検討」 3 県防災備蓄品払出実働訓練参加 4 千葉県防災図上訓練参加 7 月 5 東京オリパラ協力支援 10 名 6 引越見積支援事業 陸自 4 個 ST 7 中級管理講習講師派遣 下総 1 回 8 「千葉だより」4 回/年 発行 9 県本部事務局員交代 寄付金 208.5 万円	1 総会 4 月 生涯学習センター 講演会 宇都隆史参議院議員 2 千葉県防災図上訓練参加 7 月 3 防災備蓄倉庫物資搬出訓練 3 ケ所 4 引越見積支援事業 陸自 4 個 ST 5 中級管理講習講師派遣 下総 2 回 6 「千葉だより」4 回/年発行 編集担当指名年度計画 7 部隊研修第一ヘリ団 2 月 69 名 8 隊友会入会説明会の実施 下志津、峯岡山、松戸、木更津 習志野 寄付金 189.7 万円	1 総会 4 月 三井ガーデンホテル 2 防衛講演会の実施 4 月 19 日 三井ガーデンホテル 80 名 講師：ナザレンコ・アンドリー 3 防災備蓄倉庫物資搬出訓練 3 ケ所 4 引越見積支援事業 松戸駐屯地 5 空自家族支援協力 木更津分屯 基地 6 中級管理講習講師派遣 下総 2 回 7 隊友会入会説明会の実施 館山 8 中隊長・先任上級曹長との交流会 下志津駐屯地 寄付金 169.4 万円	1 総会 4 月 三井ガーデンホテル 2 防衛講演会の実施 4 月 17 日 三井ガーデンホテル 講師：前航空幕僚長 井筒俊二	
会 員 数	2,700 名（終 2,040 名、年 660 名）	2,648 名（終 1,925 名、年 723 名）	2,565 名（終 1,848 名、年 717 名）		
在葉部隊の主要 行事（沿革）		匝瑺市での鳥インフルエンザ災 害派遣 第一空挺団	第 1 ヘリ団及び需品学校能登半島地 震災害派遣		